

GUARDIANWALL V7.3.00 for Linux リリースノート

GUARDIANWALL V7.2.00 for Linux から GUARDIANWALL V7.3.00 for Linux において、以下の修正を致しました。

1. 修正

GUARDIANSUITE V4.2.00 (GUARDIANWALL V7.2.00) までに含まれる、以下の不具合を修正致しました。

(1) CYPHER 関数の不具合

検査・配送ルールの数値条件にて、メールが暗号化されているかを判定する関数 CYPHER() > 0 を設定すると、暗号化の有無に関わらず全ての HTML メールがこの条件にマッチしてしまう不具合を修正致しました。

(2) グループのアドレスリストに使用できない文字が登録できる不具合

GUARDIANWALL のグループ登録画面において、使用不可な文字である「#」を含むメールアドレスが登録できてしまう不具合を修正致しました。

(3) 検出したキーワードが正しく記録されない不具合

GUARDIANWALL にて、同一のキーワードが複数登録されている場合※、情報検査ログや保留理由の検出キーワード欄に、検出されたキーワードが正しく表示されない不具合を修正致しました。

※同じ条件セット内に同一キーワードを別 ID で登録する、別々の条件セットに同一キーワードを登録する、などが該当します。

(4) 保存メール/保留メール本文画面で特定文字が正しく表示されない不具合

GUARDIANWALL の保存メール本文画面、保留メール本文画面において、<< が ≪ と表示され、正しく表示されない不具合を修正致しました。

(5) ディスク使用量確認画面で 2TB を超えるサイズが正しく表示されない不具合

管理サーバ、検査サーバのディスク使用量確認画面において、ログ保存ディレクトリやアーカイブ保存ディレクトリに指定しているファイルシステムのディスクサイズが、2TB まではしか表示されない不具合を修正致しました。

(6) リストア完了後にテープが元の位置に戻らない不具合

監査データ以外のデータ(メールログやウェブログ)のみがバックアップされているテープから、リストアリストを作成した後にリストアを実行すると、リストア完了時にテープ位置が元の位置に戻らない不具合を修正致しました。

2. システム要件

GUARDIANWALL V7.3.00 for Linux を利用するには、以下の要件を満たしたハードウェア／ソフトウェアが必要となります。

【Linux 版サーバ条件】

- OS : RedHat Enterprise Linux AS/ES 4,
: RedHat Enterprise Linux 5
(次のパッケージがインストールされている必要があります。
ed、tcl、compat-db、compat-libstdc++、mt-st)
- CPU : 上記 OS が動作する IA-32 (Pentium 以上)、
Intel64 プロセッサ (Itanium2 は非対応)

【管理用クライアント条件】

- OS : Windows XP/Vista
- ウェブブラウザ : Internet Explorer 6.0sp2, 6.0sp3, 7.0sp1
- その他条件 : ブラウザの JavaScript が有効であること

以上